

旅行じゃなくて農業しない？



50か所以上の農家さんを訪問



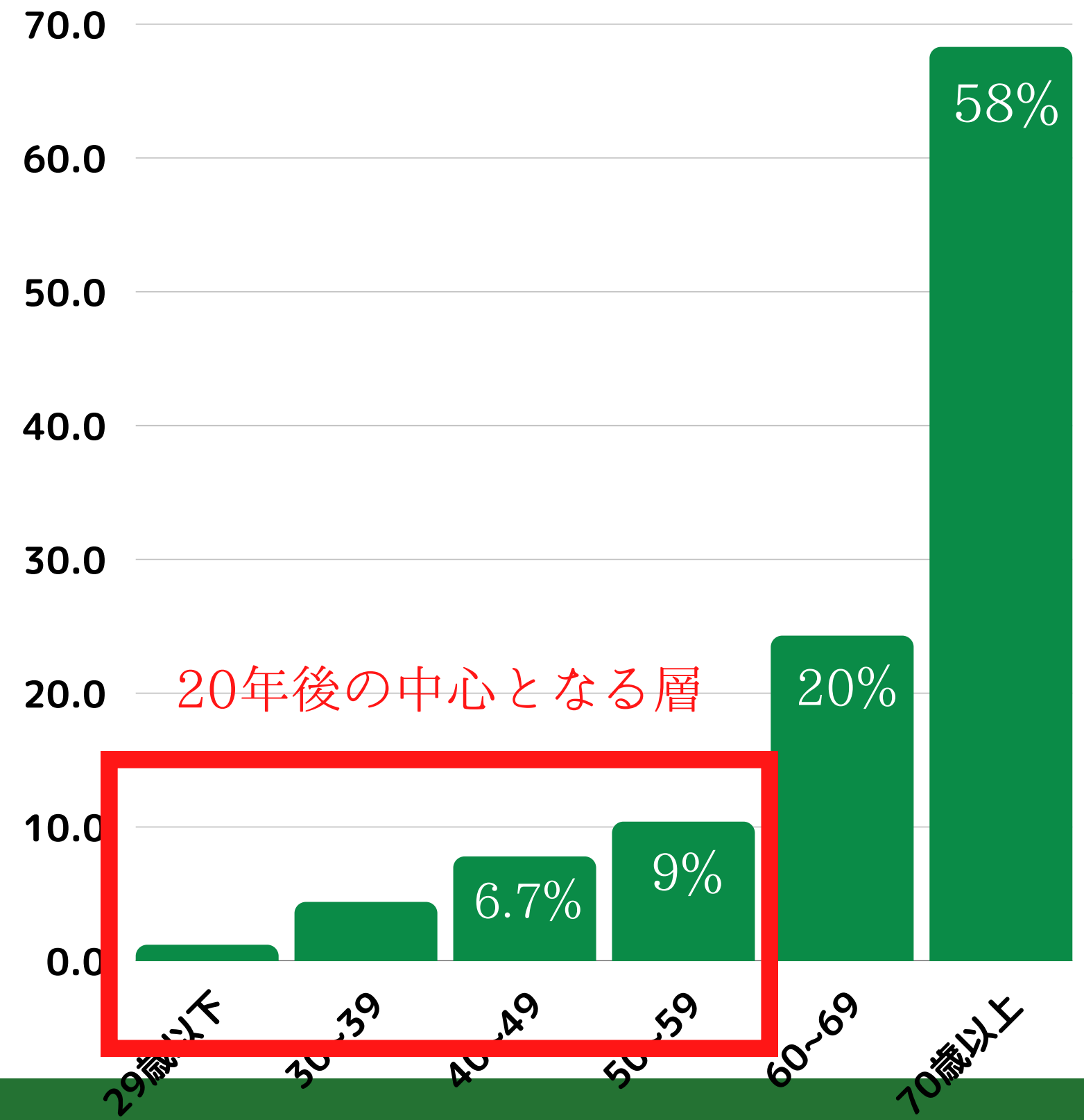
日本の農業の問題

食糧自給率37%

農家の平均年齢68歳

20年後は農家数は1/5

基幹的農業従事者数の年齢構成



日本の農村漁村を
知ってほしい

半農半X型農業ワーケーション



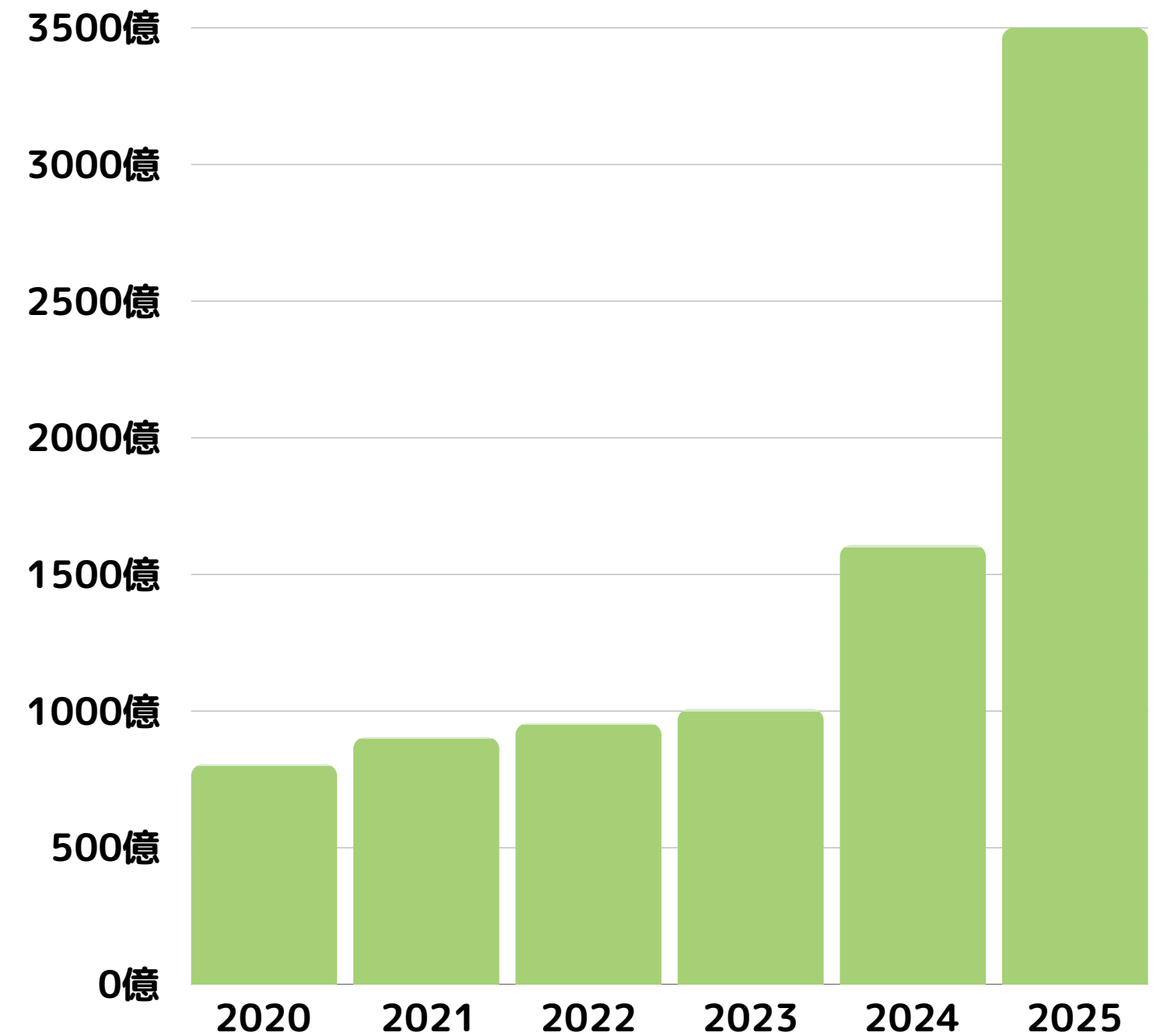
午前は農業

午後は自由

コロナの影響でワーケーション需要の増加

2025年には4000億の市場になると予想されている。

ワーケーション
市場は今後も
右肩上がり



ワーケーションの課題

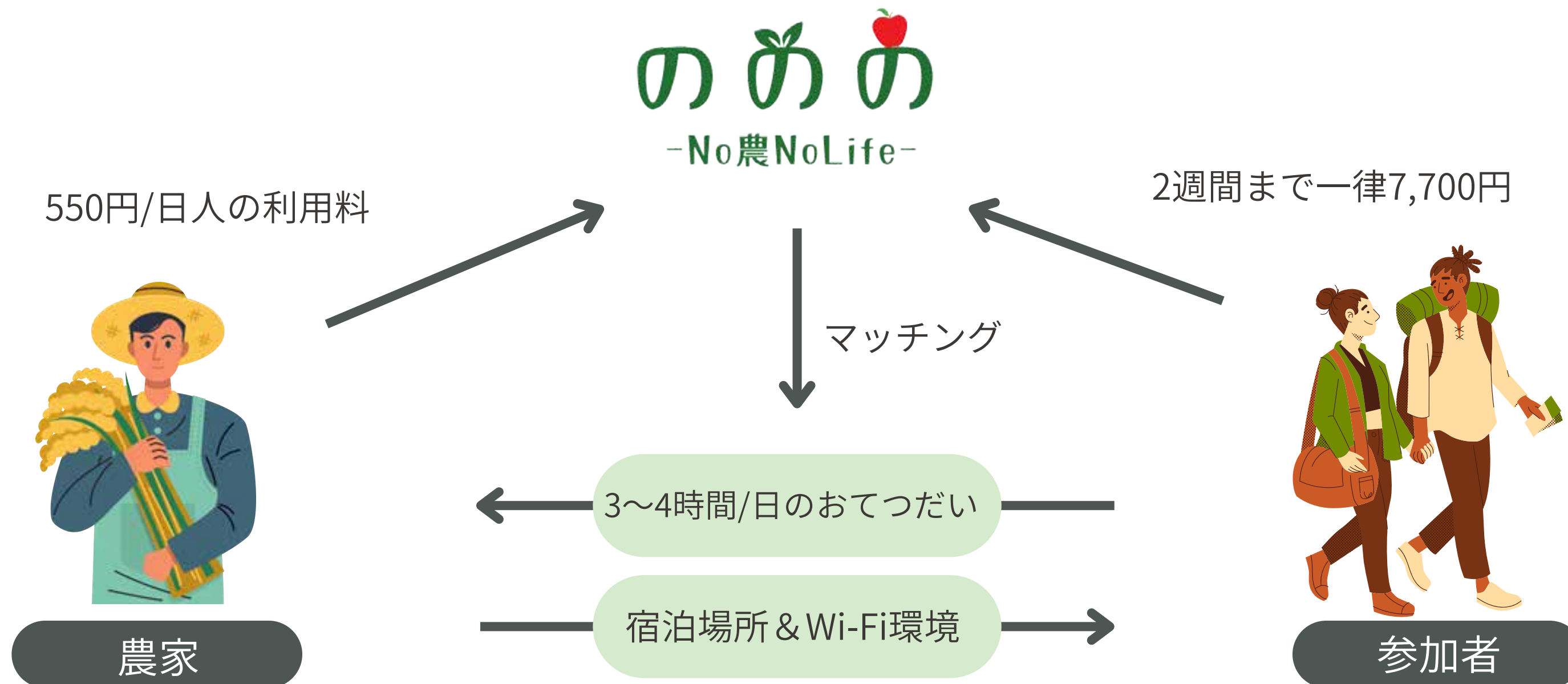
高い

1泊あたり1万～2万

の の の （ N o 農 N o L i f e ） の 魅 力

一 律 7 , 7 0 0 円 で
2 週 間 ま で 何 泊 で も ！

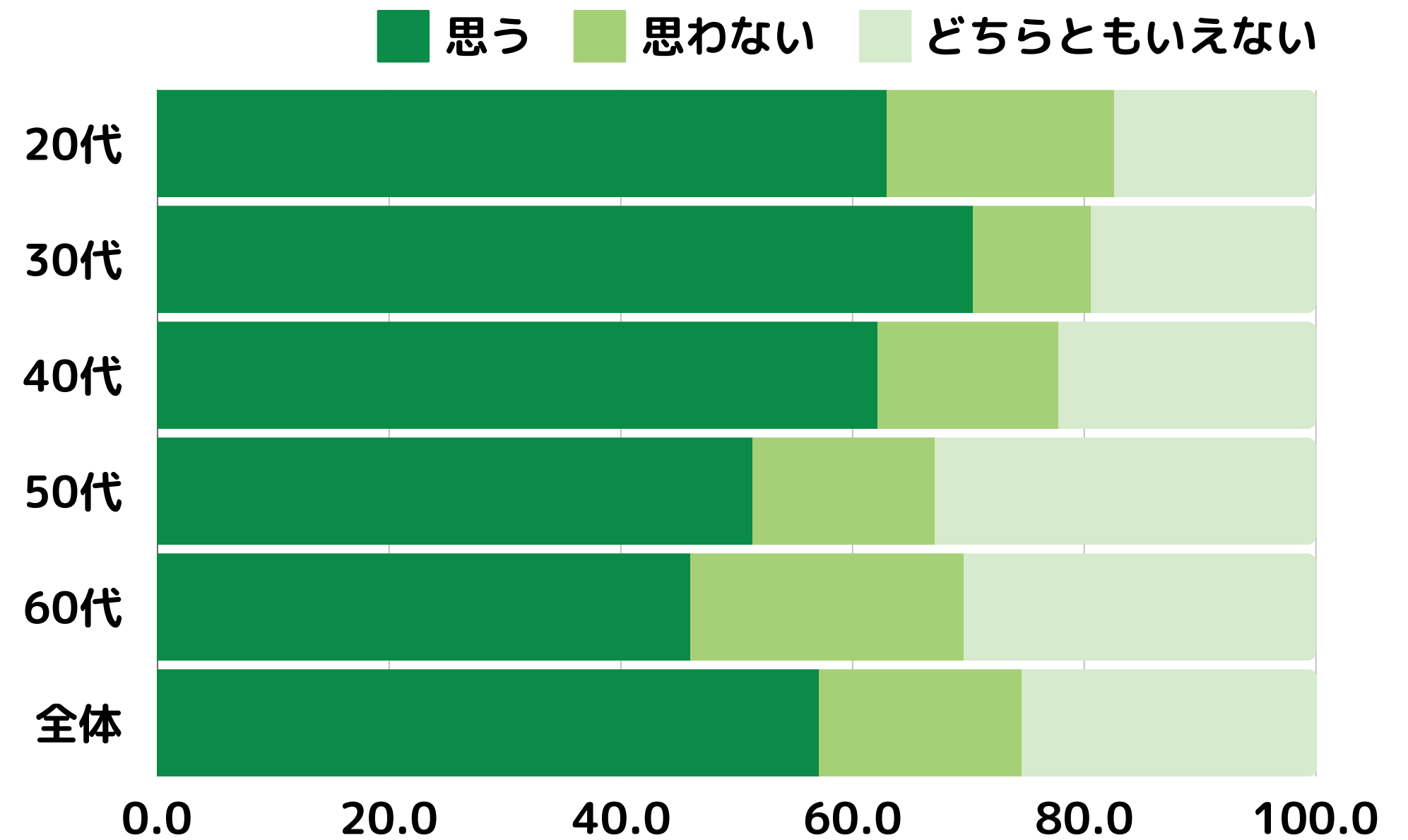
参加者はお手伝いとして4時間農作業をし、農家さんはそれに対する報酬は一切発生しない
代わりに宿泊場所とテレワークできる環境を用意します。



ターゲット

「あなたは農作業体験をしたいと思いますか？」

農業をしたい
ニーズは
どの世代も高い！



(資料) 平成27年度第2回インターネット都政モニターアンケート結果「東京の農業」2015/8/10東京都生活文化局

ターゲットの課題

仕方がわからない

ガチでやるほどでもない

機会がない

実績



提携農家 100 件



正確なマッチングを行うためのサイト情報

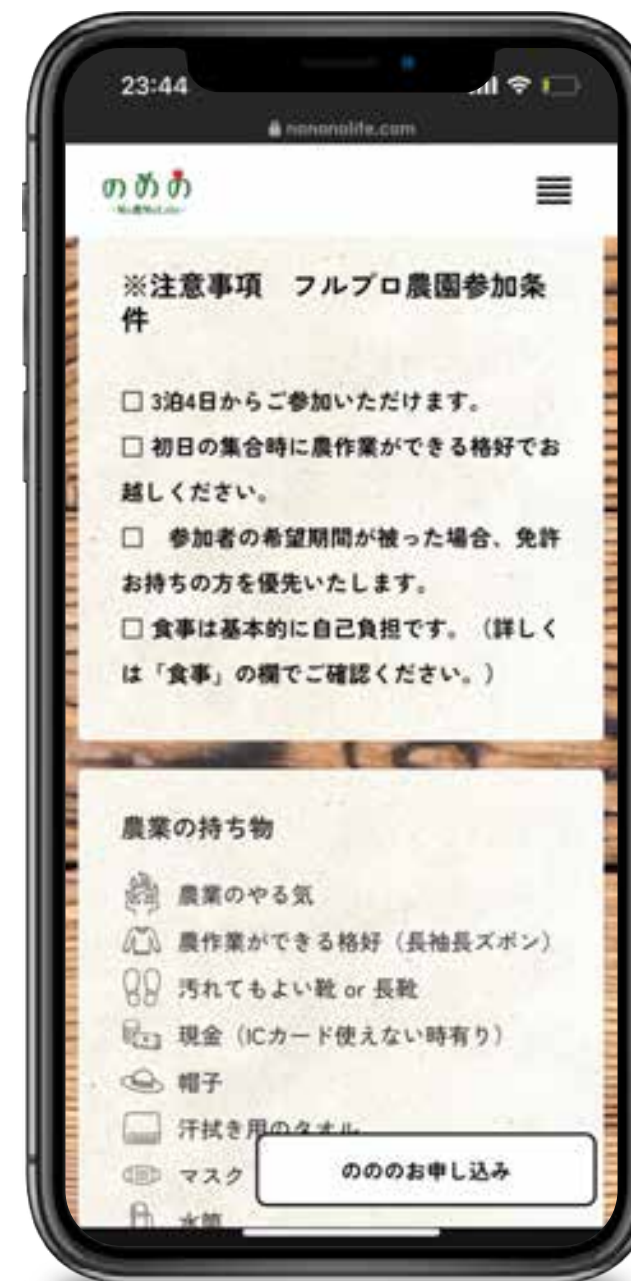
①農家さん基礎情報



②のののスケジュール



③参加条件 宿泊場所情報



④地域の観光名所



⑤レビュー機能



実績

累計参加者500人突破

満足度農家と利用者共に5点満点中平均4.5以上



移住者もでています

あ！1番伝えたかったことが抜けてた！
私が移住決心できたのはののののおかげです💖🥹

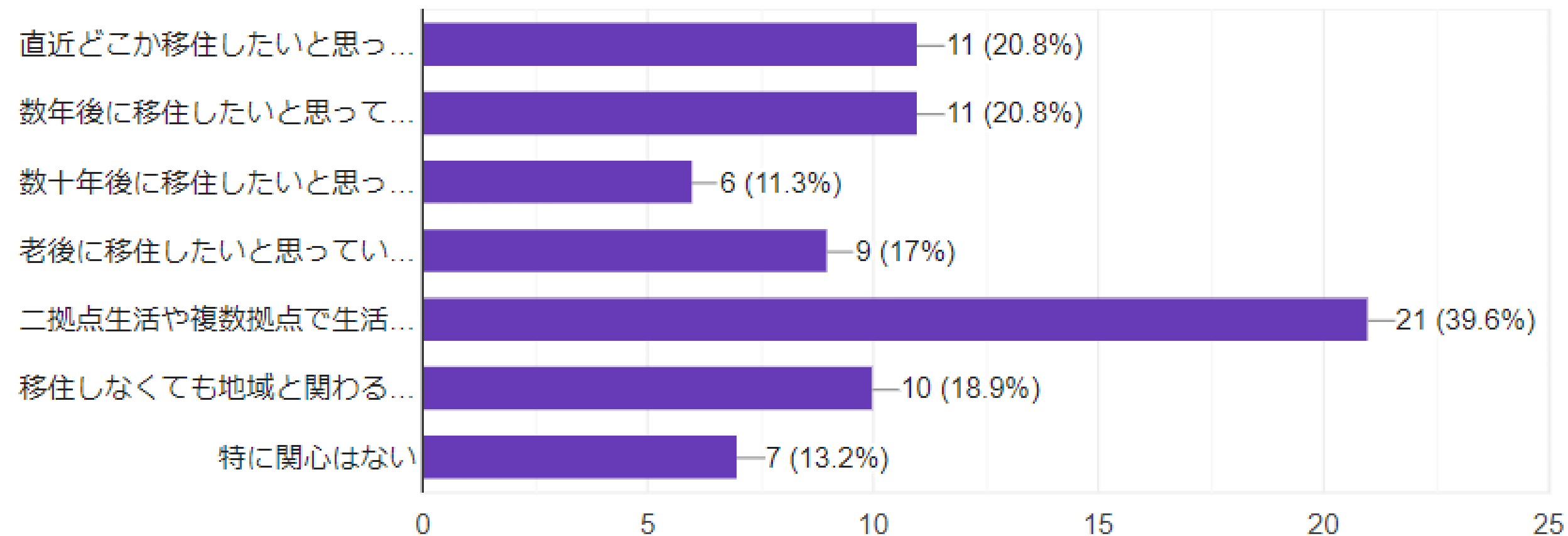
通山家の皆さんには、農業ワーケーションという言葉だけでは表せないほどたくさんさんの経験をさせていただきました！
このような機会をいただき、本当にありがとうございます！

社会人になってからだからこそ感じるものもたくさんあった、かけがえのない3日間でした。

ののの参加者の全体の6割が10年以内に移住したい

移住への関心度をお聞かせください

53 件の回答



ののの参加後アンケートにおける、移住への関心度合いの数値で「直近～数十年後に移住したい」と回答した方は62%以上を占めており、昨年度も実際にUターンとして東京から地元に貢献するために戻られた方もいらっしゃいます。

農家さんの声



農家の負担は滞在費とテレワークできる環境のみなので、大体1,000円～3000円で済むことが多い。普通にパートを雇うより良い。農家の救世主になるサービスだと思う。

北海道農家さん

SNSが強い方や、スキルを持たれている方が多く、一緒にプロジェクトをやったり、HPを作ってもらったり、農業ワーケーション後に商品を購入してもらったり、様々な繋がりが全国にできる。

長野県農家さん



初めての受け入れでしたが、とても良い方で本当に別れが惜しかったです。私達の想いに共感してもらい、真面目に誠実に業務に取り組んでもらえて大変満足しています。

鹿児島県農家さん

3月まで限定キャンペーン

北海道までの交通費が無料

海の幸と温泉入り放題の

漁業ワーケーション



北海道島牧村 限定8名

北海道島牧村で交通費 無料の実証実験

交通費を地域が負担しても
ROI150%以上の
地域への
経済効果を算出

農家と地域の魅力をPR



地域や農家へのメリット



経済効果
地域の魅力PR



農家の人手不足解決
空き家活用
農の関心層の増加



関係人口創出
移住支援

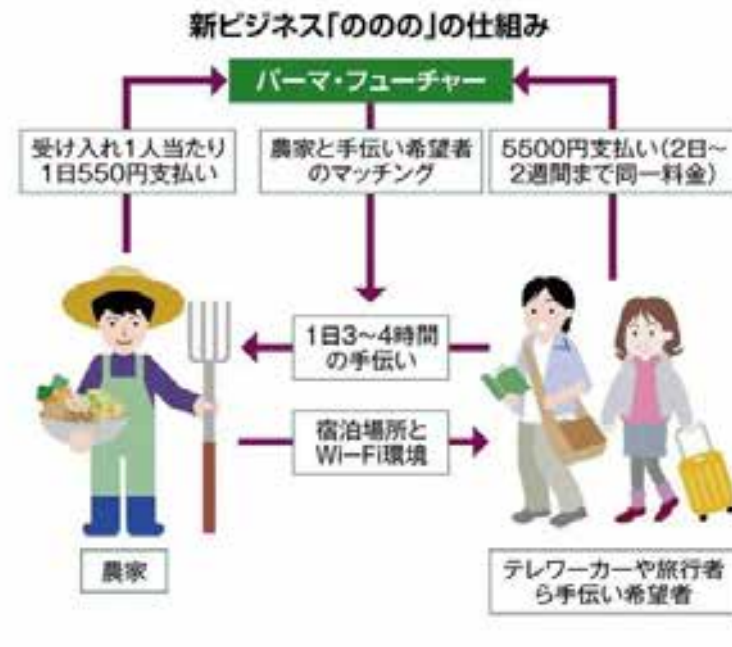
北海道新聞

11 経 済 16版

2024年(令和6年)3月13日(水曜日)

北海道新聞

数時間作業 見返りに宿泊場所提供



北大院生が事業化 交流促す

農家の登録や問い合わせは池田さんの電子メール(permafuture@earthwind.officialoom)へ。(徳永)

池田さんは北大学院に入る前の明治大在学中から農業に関心をもち、全国の農家を訪ね歩いた経験がある。その中で農業従事者が減り、高齢化が進んでいることを知り、多くの人が農業に関心を寄せる必要性を痛感。農村と都市部の人の交流を生む事業を立ち上げることになった。

今後、登録農家を500、600軒とし、利用者を月100人まで増やしたい考え。利用者の中には手伝いをきっかけに首都圏から鹿児島県に移住した人や、余市町に1カ月単位で繰り返し滞在するなど「フチ移住」をした人もいるといふ。池田さんは「事業を通じて、農村と都市部の垣根を低くし、身近に農業を感じようとする人を増やしていきたい」と話している。



「のの」に登録する余市町の果樹農家で農作業を手伝う池田さん。昨年10月(パーマ・フューチャー提供)

「のの」に登録する余市町の果樹農家で農作業を手伝う池田さん。昨年10月(パーマ・フューチャー提供)

同社は北大学院環境科学院修士2年の池田航介さん(26)が2022年1月に設立。事業の名称は、農業がなければ人の暮らしは成り立たない「NO 農 NO LI FE」という思いを込めて「のの」と名付けた。

農家と滞在希望者つなぐ

北大学院生が設立したスタートアップ(新興企業)の「Perma Future(パーマ・フューチャー)」は、農村に滞在したいと考えているテレワーカーや旅行者と、農作業の人手を求める農家をマッチングするビジネスに取り組んでいる。昨年7月に全国で事業を始め、これまで約200人が利用。移住や長期滞在につながる可能性もあり、定住しなくても地域と関係を持ち続ける「関係人口」の拡大を目指す。

登録している農家側は、宿泊場所のほか、利用者がインターネットを利用できるようにWi-Fi環境を用意。専用サイトに募集人数や作業内容などの「求人」を出し、手伝いを受け入れた際に1人1日当たり550円を同社に支払う仕組みだ。

登録している農家などは全国60軒あり、このうち道内は後志管内余市町の果樹農家や同管内留寿都町の野菜農家など8軒。60軒のうち漁業者は4軒登録している。全体で月に30、40人ほどの利用者がいるという。

パーマ社は、北大学院環境科学院修士2年の池田航介社長が2022年1月に設立した新興企業。「農業がなければ人の暮らしは成り立たない(NO 農 NO LI FE)」というテーマに

人手不足解消目指す

【岩見沢】空知信用金庫は12日、農村に滞在したい旅行者らと、農作業の人手を求める農家をマッチングする事業を展開する企業「Perma Future(パーマ・フューチャー)」(静岡県沼津市)と業務連携した。信金側が空知管内の農家にサード・ビスをPRし、人手不足解消に役立てるとともに、地域の関係人口の増加にもつなげることを目指す。



伝い、農作業以外の時間は自由で過ごす仕組み。給料は支払われず、農家は

空知信金 新興企業と連携 農家と旅行者つなぐ事業支援

側は宿泊場所とWi-Fi環境を提供する。旅行者側は利用料金として7700円(2週間まで)、農家側は手伝いを受け入れた際に1人1日550円をパーマ社に支払う。これまでに首都圏を中心に約300人が利用。農家の登録は無料で、全国で70軒、道内は約20軒が登録している。

今後、同信金が顧客などへの周知を進め、農家の登録につながる。観光振興などにも効果が波及する可能性があり、12日の締結式で同信金の総務部理事は「地域の情報やネットワークを生かし、地域経済の活性化に少しでも貢献したい」と期待。パーマ社の池田社長は「空知は札幌から近く、利用者が参加しやすいのが強み。いろいろな農家さんに入ってもらいたい、空知に来る人を増やしたい」と話した。(野島有里)

受賞歴と実績

- COM-PRO **KRP賞受賞**
- 日経ソーシャルビジネスコンテスト **ファイナリスト**
- CSOフォーラム **ファイナリスト**
- 都留まちづくりビジネスコンテスト **ファイナリスト**
- 飛島地方創生 **優秀賞受賞**
- JA JUMPビジネスコンテスト **JUMP賞 全農賞 きくこ賞**
- JAアクセラレーター第6期 **優秀賞受賞**
- クラウドファンディング 2週間で383名から応募。
集まった金額 **4,075,500円**



支援総額
4,075,500円 目標金額 3,000,000円

支援者 募集終了日
383人 **2024年5月26日**  33

<https://readyfor.jp/projects/...> **コピー**

専用URLを使うと、あなたのシェアによってこのプロジェクトに何人訪れているかを確認できます

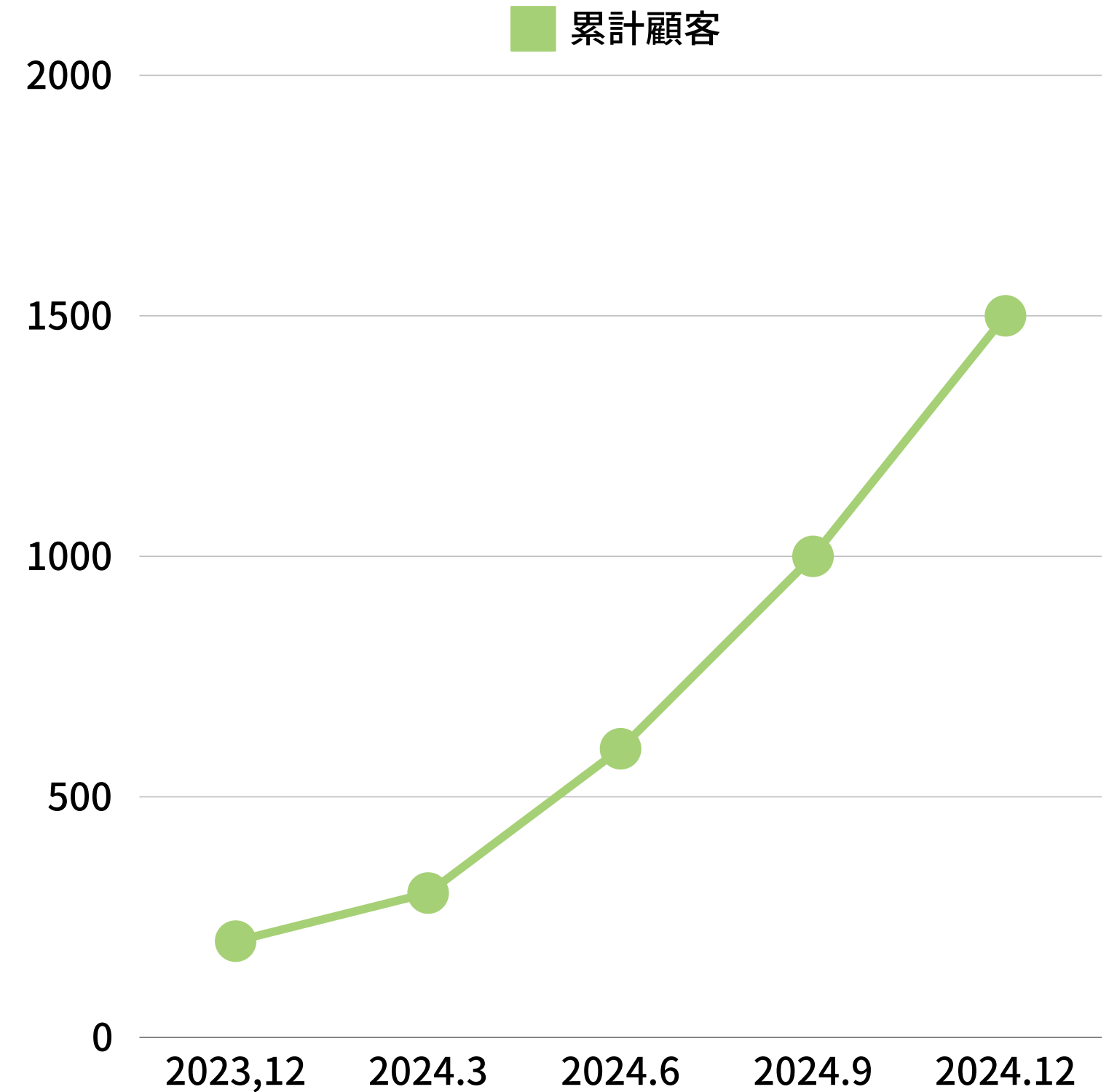
 Facebook  X  LINE  note

今後の新たなチャネルと戦略

2025年は累計参加者数
1500人農家200件

チャネル

- ① Instagramや参加者コミュニティ
- ② 企業の研修や福利厚生
- ③ フリーランス塾や大学と提携





のめの  × 
-No農NoLife-

「農」への仕切りを
限りなく低くする



公式HP

Instagram

